

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：企業立地対策費

事業名 大規模空き工場企業誘致補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 企業誘致課 立地支援係 電話番号：058-272-1111(内3085)

E-mail：c11342@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 200,000 千円 (前年度予算額：200,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	200,000	0	0	0	0	0	0	0	200,000
要求額	200,000	0	0	0	0	0	0	0	200,000
決定額	200,000	0	0	0	0	0	0	0	200,000

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・大規模工場の撤退や閉鎖による県経済、雇用、県民生活等、多大な影響に迅速に対応するため、製造業に限定せず、雇用創出力の大きい業種又は企業を当該大規模空き工場に誘致し、撤退及び閉鎖により失われた雇用を確保するとともに、新たな産業を創出し、地域の活性化を図る。

(2) 事業内容

【補助制度の概要】

①補助対象者

- ・閉鎖した大規模工場の土地、建物等を閉鎖から5年以内を取得し、当該建物を利活用して、新たに製造業等の事業所を設置する者
- ※大規模工場とは、工場の敷地面積が5ha以上かつ延床面積が4ha以上の工場をいう。

②対象業種

- ・製造業、情報通信業、情報通信技術利用業、運輸業、卸売業、自然科学研究所及びこれらの機能を有する事業所、植物工場、クリーニング工場、メンテナンス（修理・修繕）工場を営む業種

③新規雇用者要件

- ・100名以上

④補助率等

- ・初期投下固定資産取得額の10分の1以内（補助限度額は10億円）

(3) 県負担・補助率の考え方

企業立地支援対策は、県の経済・雇用対策であり、県負担は妥当。補助率は類似制度と同等の率

(4) 類似事業の有無

有【類似事業】企業立地促進事業補助金

当該制度は、県内への企業誘致の促進を図り、税収効果、雇用効果、地域経済の活性化を推進することを主目的としている。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	200,000	過年度交付決定分 1件
その他		
合計	200,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・長期構想（長期目標）
 - 県が取り組む政策の方向性
 - Ⅱ-1 モノをつくって、地域外からお金を稼ぐ地域をつくる
- ・企業誘致を推進する
 - 重点プロジェクト（事業実施指標）
 - 6-1 モノづくり立県推進プロジェクト
 - 企業誘致対策
 - 地域産業基盤の強化のための工業団地開発と企業誘致

(2) 国・他県の状況

本県以外に、同様な補助制度を設けている都道府県は把握していない。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	大規模空き工場企業誘致補助金
補助事業者（団体）	県内の大規模空き工場を取得し利活用する企業 (理由) 大規模工場の撤退や閉鎖に対応するため、企業を当該大規模空き工場に誘致
補助事業の概要	(目的) 県経済の活性化及び県民生活の安定化 (内容) 大規模空き工場の取得・利活用における事業所設置に係る初期投下固定資産額（土地、建物、償却資産）等に対して補助を実施
補助率・補助単価等	定率 (内容) 初期投下固定資産額の1割以内等 (理由) 類似制度（企業立地促進事業補助金）と同等の率
補助効果	企業立地に伴う税収効果、雇用効果
終期の設定	終期令和4年度 (理由)

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

今後、新たに補助対象となる大規模空き工場の事例が認められた場合は、市町村とも連携し、当該工場へ企業誘致を推進する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度 100,000	R元年度 254,346	R2年度 200,000
--------------------	------------------	-----------------	-----------------

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 雇用の創出、税源の涵養、地域経済・産業の振興が挙げられる。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	大規模空き工場への企業誘致の推進は、失われた雇用や税収の回復につながり、県民経済の活性化や県民生活の安定化を図ることができ、事業の必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価) 2	補助制度を活用して大規模空き工場に企業誘致することができ、その結果、失われた雇用及び税収の確保ができたことから、事業の有効性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	企業立地を促進するため、関係市と県が連携を図り、企業要望等に対してワンストップサービスによる支援の実施を行った。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 工場撤退・閉鎖の情報を市町村等と連携して把握する必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
